

道産小果実

でキャラ系え萌 区全国せざめ

ブランド化後押し 食クラスター モデル事業で

アニメファンなどに人気の「萌え系」美少女キャラクターで道産小果実を全国に売り込もうと、

道などは19日、札幌市でキャラクターの発表会を開いた。新たな加工品の開発も進め、展示会やインターネットを通じてアピールする。道の食クラスター事業の一環で、幅広い業種が連携し農産物の付加価値向上と地域の活性化を目指す。

売り込むのはハスカップとアロニア、シーベリー。いずれも道内で生産が増えつつあり、健康機能が注

目されている。この小果実のブランド化企画が、道が今年度から始めた戦略的食地、道立総合研究機構などでつくるコンソーシアム(連合体)が取り組む。



小果実の新キャラクター。左からハスカップの「ゆう」、アロニアの「エリ」、シーベリーの「ラム」

目ざしている。この小果実のブランド化企画が、道が今年度から始めた戦略的食地、道立総合研究機構などでつくるコンソーシアム(連合体)が取り組む。キャラクターデザインを担当したのはパソコンソフトから生まれた人気キャラクター「初音ミク」を制作した札幌市のクリプトン・フューチャー・メディア(株)。ハスカップの「ゆう」、アロニアの「エリ」、シーベリーの「ラム」で、ベリーの妖精をイメージして原産地や学名から名付けた。甘酒に果実のピューレを混ぜた「フルーツ甘酒」を来年2月のさっぽろ雪祭りでの販売を目指して開発するほか、グミキャンディーなどを予定する。コンソーシアムを代表する札幌市のIT企業SOC(株)の後藤宏行セールスマネージャーは「北海道に行けばこのキャラクターに会える、というまでに育て上げたい。北海道の農家と地域を盛り上げ、海外にも通じるブランドをつくりたい」と意気込んでいる。

24日から千葉市で開かれるアグリビジネス創出フェアでデビューし、12月には札幌市内のフェアでもお目見えする。ホームページや商品ラベルなどで統一ブランドを展開する。